

2016 年度泉町地域包括支援センター事業報告

泉町地域包括支援センター センター長 高岡裕美

【事業総括】

介護予防・日常生活支援総合事業の開始となり、制度の理解を含めて大変な時期でした。昨年度に引き続き、多様な課題の解決にあたっては、包括内部の専門職間の検討、また、外部機関との連携をフルに活用して、高齢者のワンストップ窓口になりうるべく取り組みました。

I. 各専門職における業務報告

① 主任ケアマネジャー

1. 圏域事例検討会実施

個別事例における介護支援専門員の支援の立ち位置・支援方法を「気づき」を目標に学ぶ。

①中部圏域開催 6回 参加者数 13人

②富士町包括と共同圏域 6回 参加者人数 15人

H29. 3. 23 全体会 スーパーバイザー：社会福祉協議会 関根氏

2. 全包括職員内研修会実施

今年度は、医師会にも参加を募り、一緒に事例を検討した。

H28. 12. 8 事例検討会 精神障害をもつ方の支援

講師：多摩総合精神福祉センター 石津谷医師

3. 新任介護支援専門員研修交流会

・H28/8/1 参加人数 18人（15事業所）

対象：新人（経験二年以内）あるいは西東京市に着任後間もないケアマネジャー

目的：地域包括支援センターの役割や高齢者サービスの理解、地域包括支援センターとケアマネジャーとの協力についての事例紹介

4. 介護支援専門員研修

・H28. 7/22「介護支援専門員のための倫理とプライバシー」研修 講師：小島操氏

目的：介護支援専門員としての倫理綱領を再確認。個人情報等の考え方を学ぶ。

・H28. 9/16「ケアマネジメントの質の向上研修」 講師：佐藤信人氏

目的：「自立支援」の視点をケアプランに活かすため、リ・アセスメント支援シートの活用

5. 介護保険事業者向け勉強会実施

・H29・1/27 講師：杉並保健所 向山医師

6. 主任ケアマネジャー研究協議会研究部会

・居宅介護支援事業所等と地域包括支援センターの主任介護支援専門員による研究活動

・制度サービス研究部会：ケアマネジメントに関わる制度やサービスについての研究

・質の向上研究部会：介護支援専門員及びすべてのサービスの質の向上に関する研究

・医療と福祉の連携研究部会：ケアマネジメントに不可欠な医療と福祉の連携について研修

7. その他

・各分科会への協力・支援

・日常的な介護支援専門員への支援・助言

・様々な情報の収集・発信

・包括的継続的ケアマネジメントに対応する研修体系の検討

・認知症ワーキングチームに参加し、認知症サポーター養成講座の見直し、サポーターの活用等を検討

②社会福祉士

1. 総合相談・権利擁護事業について

総合相談・権利擁護担当者会議を毎月開催し、下記のような内容に取り組んだ。

①高齢者虐待対応システムの確立

年8回、虐待全体モニタリング会議を開催し、現時点のすべての虐待ケースについて、リスクレベルの確認、終結の確認等行った。

②支援検討会議の開催

困難ケースについて専門家の意見をいただく機会を持った。

③弁護士による相談会の実施

弁護士のアドバイスを受け、法的根拠を確認しながら適切な対応が求められるケースなどについて相談した。

④包括職員のレベルアップ研修実施

H28 7/7 成年後見制度と日常生活支援総合事業の違いについての研修実施
虐待防止に関する市内外への研修に参加

⑤虐待予防を目的とした擁護者へのかかわり

各包括、または圏域で、認知症の方をお世話している家族の会を実施

⑥虐待要因分析クロス集計の実施

・今後の虐待防止・対応に役立てるため、昨年度の虐待事例について要因や属性について、分析を行った。

⑦施設虐待についての情報を高齢者指導給付係と共有

⑧消費者センターとの連携

⑨息子の会実施（7/23 11/26 2/25）

・虐待者（養護者）が息子が多いとのデータより、介護している息子様どうしの集まりを企画。悩みを共有することで虐待に繋がる芽を防ぐ目的にて今年度より開催。

2. 普及啓発活動

①＜市民への普及啓発＞

(1)市報への掲載 11・1号

障害、児童分野とコラボレーションし、虐待防止記事を市報の1面に掲載した。

(2)虐待防止キャンペーンの実施

子供家庭支援センター・障害福祉課と連携し開催 パネル展示 講演会開催

(3) 市民まつり（11/12）、介護の日（11/11）イベントでのPR実施

人を呼びやすい「握力・足指力計測」とともに、「認知症への対応チェック」「転びやすさチェック」などを用意し、介護についての理解を深めていただいた。

＜関係者への普及啓発・研修会の実施＞

・分科会で「虐待対応講座」を実施

・H28.12.6 ケアマネジャー分科会にて実施

「不適切なケアの防止・・・計画的支援が解決の糸口となるケース」の事例をもとに行なう。

・H28.12.15 施設分科会にて実施 「虐待研修」

・出前講座の展開

各包括が、担当地域の通所介護事業所を対象にした、30分程度の虐待対応ミニ講座を実施した。本年度は、ディサービスを重点的に12事業所で実施

2. 総合相談・ネットワークについて

社会資源マップ作業委員会を各月で開催し、下記のような内容に取り組んだ。

- ・ 介護支援専門員向け社会資源マップの作成
- ・ 目的：介護支援専門員が必要とする介護保険外サービスについて、活用できる情報を提供するとともに、社会資源情報収集時において地域との連携を図る。
- ・ 内容：今までに配布した資料の情報を更新し、最新情報として改めて配布した。

③看護師

1. 一般介護予防事業

- ① 高齢者クラブ・ミニデイへの周知方法・媒体づくり
- ② 講演会実施

- 1、フレイル予防講演会 東大教授 飯島勝矢教授
- 2、オーラルフレイル講演会 「長寿の鍵は口にあり」 日本歯科大学

2. 認知症対策

- ① 高齢者こころの相談会開催
 - ・ 認知症の症状に悩む本人・家族及び関係者が気軽に相談することができ、対処方法を知り早期受診へつなげるためのステップとする。

- ② 認知症キャンペーン

- ・ 「認知症を知る1ヶ月キャンペーン」実施/期間：H28年10月1日～10月31日
- ・ 脳いきいきウォーキング実施/目的：認知症予防の普及啓発
日時：H28.10.21 9時～12時/会場：保谷庁舎周辺（5～7キロ）
- ・ 認知症講演会実施
- ・ H28.10.6 「認知症にならない、なったかも、なっても」
講師：メモリークリニックお茶の水：朝田 隆 医師

3. 熱中症対策

- ・ チラシを作成し熱中症予防の普及啓発

4. うつ予防対策

- ・ うつ予防講演会実施
- ・ H29.3.7 「うつと心のケア」講師：東京都健康長寿医療センター 古田 光医師

5. 終末期講演会

- ・ H28.11.16 「老い・終末期を考える」講師：ケアタウン小平クリニック 山崎 章郎医師
自分で決めたい自分の事、自分らしいエンディングを迎えるために

④介護支援専門員

1. ささえあいネットワーク事業の協力

今年度より、「りんく」に実施主体が移行。協力体制となる。

H28.12.7 りんくとの交流・意見交換

移行後の問題点、支援内容の確認、現在の利用状況、ささえあいメール見守り、ささえあい訪問協力員推進委員会について

担当地域内の現在の登録状況（H28年12月）

ささえあい協力員 151名 ささえあい訪問協力員 33名 ささえあい協力団体 26団体

⑤認知症地域支援推進委員

1、認知症対策の普及・啓発・・・平成28年度は看護師会との協働

- (1) 認知症講演会
- (2) 脳いきいきウォーキング
- (3) 認知症パネル展示：田無・保谷両庁舎で10月一ヶ月間資料展示。
- (4) 認知症サポーター養成講座の拡充：認知症サポーター養成講座WTとともに講座内容やステップアップ講座（9/27開催）についての検討

2、家族介護者の集い

偶数月の第3水曜日に開催。新メンバー増員の取り組みを行う。

3、若年性認知症支援

今年度は、ニーズ抽出のためにアンケートを作成し、11月の居宅分科会で配布・改修した。

4、認知症ケアパスの作成

ケアパス作業部会を立ち上げ、収集した社会資源情報の集約や内容の検討を行い、西東京市オリジナルの認知症ケアパスの作成を行った。

5、認知症カフェの支援

圏域内の認知症カフェに参加し、傾聴・相談などを実施。

6、みまもりシールの運用

目的：認知症高齢者が行方不明になった場合に、できるだけ早く自宅に戻ることができるようにする。

書く包括で受付し、市と包括で登録者について情報共有している。泉町包括では、平成29年1月現在8名の登録。

7、企業や商店街へのアプローチ

「認知症の人が、安心して地域で買い物できる町づくりをしたい。」を推進員のモデルケースとして活動実施。

目的①地域の商店の困りごとを聞き取り対応を考える。

②認知症について知ってもらう。（認知症サポーター養成講座実施啓発）

③地域包括や認知症地域支援推進員を知ってもらう。

8、SOSネットワーク模擬訓練参加

中部圏域 9/25 南部圏域 11/20

【事業計画とその評価】

①総合相談支援業務

65歳以上の相談窓口として、問題を抱えたケースを対応。

介護保険申請から支援困難ケースまで、多種多様なケースを、チームアプローチを実践するとともに、各関係機関との連携を行い、迅速に対応した。

③権利擁護業務

- ・包括内の3人の社会福祉士が中心となり、判断力が低下している方に対して、尊厳のある生活を送るために地域権利擁護事業・成年後見制度の利用ができるように支援。
- ・高齢者虐待の防止・予防を行うために、虐待ミニ講座を実施したり、消費生活センターとの連携を行なった。
- ・虐待ケースについては、各機関と連携し、高齢者虐待防止法に基づき対応した。

④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・住み慣れた地域で必要なサービスを利用し、安心して生活が継続してできるように医療・保健・福祉が連携した有機的な支援を行なう手段の一つとして、地域ケア会議を開催。
- ・今年度は、地域ケア会議Ⅰ 10回開催 地域ケア会議Ⅱ 2回開催予定
- ・地域へのケアマネ支援として、ケアマネ交流会を開催。また、交流会としては、生活保護職員と民生委員との交流会、結女との交流会も実施。関係機関との横のつながりを強化するように、模擬訓練や介護塾、推進会議への出席等積極的に行なった。

⑤ 介護予防業務

A 新しい介護予防・日常生活支援総合事業が開始

介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービス・通所型サービスへのスムーズな移行。

介護予防ケアマネジメントの実施。ケアプランについて、事業対象者としての西東京市独自のケアプランが開始され、より自立支援となるプラン作成とする。

看護師職中心として行なう一般介護予防事業の推進を行なう

B 予防給付

確実な給付管理実施。今年度より、総合事業開始に伴い、予防ケアマネジメントも加わる。

C 介護予防教室開催

毎月金曜日 ふらっと住吉にて介護予防教室を開催する。

西東京市のディに協力をしてもらったり、毎回企画して参加者を募った。地域のネットワークづくりとなった。

⑤ 認知症対応業務

認知症地域支援推進員が今年度より増員され、推進員中心に実施

認知症サポーター養成講座・SOSネットワーク模擬訓練・家族会主催

認知症疾患センターや認知症コーディネーターとの連携を行い、認知症との早期診断・家族支援等を行なう。

⑥ 地域包括ケアシステム構築のために、地域ネットワーク作りの為に、全職員が一丸となって下記のような取り組みを行いました。

1. サロンの運営・協力

地域の居場所づくりとしてサロンの運営を行っている。月2回泉町と住吉町（通所Bに登録：協力）において開催。それぞれのサロンが地域に根付くように広報・啓発を行なう。

2 出張相談の実施

①NPO 法人「プラス・ド・西東京」とのコラボレーションで、介護予防の普及啓発を目的に月1回第2木曜日、出張相談〔健康カフェ〕を開催。

②住吉老人福祉センタールピナスにて実施。

月1回第4月曜日開催の介護相談。少しづつ顔なじみとなり、近隣の心配な方の相談等気軽に相談をしてもらうことができるようになっていく。

3. 介護塾開催

毎月金曜日 18時から ふらっと住吉で、身近なテーマにて勉強会を開催

- 4月 「今さら聞けない住宅改修・福祉用具について」 フランスベッド 谷崎講師
 5月 「知っていますかサービス高齢者向け住宅」 そんぽの家 内藤講師
 6月 「障がい者総合支援法の基本を学ぼう」 訪問いずみ 中館講師
 7月 東京都出前講座 「高齢者を狙う悪質商法～被害発見のポイントと対応」
 全国消費生活相談員協会会員 高崎 美代子講師
 9月 終活セミナー 「知っておきたい心構え」 株式会社ケアサービス 島田講師
 10月 障がい者全体の生活について 訪問いずみ 中館講師
 11月 「自宅で暮らし続けるための住まいの整備」
 有限会社アトリエ・ユニ代表 吉田紗栄子講師
 12月 「身体と脳を動かそう」 シワウロジ-普及協会アドバイザー 松岡講師
 1月 「ボランティア出張講座」 西東京ボランティア・市民活動センター 島田講師・長山講師
 2月 「相続トラブルと空き家問題」 行政書士・民生委員 中野講師
 3月 認知症サポーター養成講座

4. 認知症サポーター養成講座の実施

ひとりでも多くの方に認知症を正しく理解し、暖かいサポーターになっていただくことを目的として実施。職員がキャラバンメイトにて講師を担当。

市役所や他の包括との協働にて、警察や小学校・中学校への講座実施が実現できている。

- ・ 5月28日 市民向け 17名 エコプラザにて
- ・ 6月28日 まごころ弁当 6名
- ・ 7月16日 住吉小学校5年生2クラス 48名 学校公開日にて
- ・ 10月12・15・25日 ディいずみ家族会 19名
- ・ 12月2日 いずみスパディサービス 10名
- ・ 3月9日 ひばり中学校 160名予定

5. そのほかの地域活動

- ・ 協議体準備会(主催：りんく)に参加 年3回
- ・ グループホームいずみ・育の運営推進委員会に参加 (年6回)
- ・ 地域密着通所介護(さくらサポート・わがや・シェモア白樺・元気ジム・悠花)
 運営推進委員会に参加 (年2回)
- ・ 包括パンフレットを圏域の病院・接骨院・協力団体へ
- ・ 月一回の住民懇談会 いきいき泉・ほっと住吉の参加
- ・ 4/12 北原しゃきしゃき体操参加
- ・ 5/17 民生委員・生保ワーカー・ほっとネット・包括交流会実施
- ・ 5/21 ほっと住吉 介護保険の講話
- ・ 5/21 六星会(自治会)にて包括の広報
- ・ 6/11 防災町歩き参加
- ・ 6/28 ミニディ「ポピーの会」 包括啓発・介護予防啓発
- ・ 7/28 高齢者クラブ親和会 包括啓発・介護予防啓発
- ・ 7/29 あんしん西東京 関係機関情報交換会
- ・ 7/30 ルピナス祭り参加
- ・ 9/16 ACTにしとうきょう家族会参加
- ・ 9/24 第3寿会(高齢者クラブ) 包括啓発・介護予防啓発

- ・ 9/25 中部圏域SOSネットワーク模擬訓練 開催
- ・ 9/28 ルピナス演芸会
- ・ 10/2 ひばりタワー防災訓練参加・介護相談実施
- ・ 10/7 虐待ミニ講座 シェモア白樺にて開催
- ・ 10/23 パスレル祭参加
- ・ 11/20 南部圏域 SOS ネットワーク模擬訓練参加
- ・ 11/25 高齢者クラブ「年輪クラブ」包括啓発・介護予防啓発
- ・ 12/19 ふれまちルーム 大掃除
- ・ 1/14 フレイル予防・意見交換会
- ・ 1/21 在宅療養・医療と介護の意見交換会

【おもな研修実績】

- ・ 平成28年度東京都地域包括支援センター職員初任者研修 妹尾・森田・瀬ノ田
- ・ 平成28年度認知症地域支援推進員研修 瀬ノ田
- ・ 配偶者暴力被害者支援のための基礎知識 高岡・砂川
- ・ 平成28年度地域包括ケア推進三市合同研修会 高岡
- ・ 福祉用具サービス業務従事者講習会 妹尾・市川・砂川
- ・ 平成28年度地域リハビリテーション専門人材育成研修 高岡
- ・ 平成28年度第一回東京都介護予防推進会議 高岡
- ・ 平成28年度 ケアマネジメントの質の向上研修会 瀬ノ田
- ・ 平成28年度地域包括支援センター職員課題研修 高岡・妹尾・瀬ノ田
- ・ 精神保健福祉研修 瀬ノ田
- ・ キャラバンメイト養成研修 瀬ノ田・市川
- ・ 平成28年度地域包括支援センター現任者研修 妹尾
- ・ 平成28年度社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ 高岡
- ・ 平成28年度東京都介護支援専門員研修 砂川・瀬ノ田
- ・ 認定調査現任研修 高岡・瀬ノ田・砂川
- ・ 生協立社会福祉法人交流会 高岡